



がん登録の現場から

専門医による診療の質向上 90%の患者さんが寄せる信頼

乳腺外科の中谷守一医師は、大阪府がん診療連携協議会にも携わり、最新の医学的知見を基に、一人ひとりに寄り添う丁寧な診療を大切にしています。当院では2012年より全国がん登録制度に基づくシステム登録を行い、2023年までに乳がん症例は累計1006件。2023年は77件登録され、うち70件（90%）の患者さんが当院で治療を受けました。これは、専門性の高さで患者さんからの信頼の証です。



乳がん

中谷守一医師/乳腺外科



2012年～2023年

総登録数・初回治療別内訳（件）

総登録数	1006
初回・継続治療	868
外科的治療	618
化学療法	221
内分泌療法	486

当院乳腺外科は2008年の開設以来、乳がん診療の最前線で専門性を磨き、地域医療に貢献してきました。中谷守一医師を中心に、精確な診断と高度な技術で、患者さんに安心と希望を届けています。マンモグラフィや超音波検査を用いて最適な治療方針を立案。撮影は、撮影技術認定A評価の女性技師が担当し、読影は読影認定A評価の中谷医師が担うなど、質の高い検査体制を構築しています。“あきらめない”姿勢で、これからも地域の医療を守り続けます。

多職種カンファレンス

最善のケアを届けるために

乳がんの治療には、医師・看護師・薬剤師・栄養士・リハビリ専門職など、多職種の協力が不可欠です。「乳がん多職種カンファレンス」では、各分野の専門家が知識を共有し、患者さんへの最適な支援を考える場として定期開催されています。最新の治療情報やチーム医療の重要性を深く掘り下げ、より質の高いケアの実現を目指しています。

また、市民講座を開催し、乳がんの正しい知識を広める機会を設けています。診療や治療について、専門的な視点から学べる場として、多くの方に役立つ内容をお届けしています。



<https://minamiosaka.or.jp/dep-div/bs/>

がん登録を支える診療情報管理士

診療情報管理士は、患者さんの診療記録を適切に管理し、医療の安全と質の向上に貢献する専門職です。電子カルテを活用し、診療情報を整理・分析することで、精度の高い医療の提供を支えています。また、院内がん登録の情報管理を通じて、がん診療の質を高め、医療を支え、未来へつなぐ情報の架け橋となっています。「確かな情報が患者さんの未来をひらく」その想いを胸に、日々業務に取り組んでいます。

診療情報管理士/院内がん登録実務中級者認定 梅本 一美

乳腺外科

